

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		病院管理課
	05	02	01	04	01	

政策
持続可能な地域医療提供体制の確保(浜松医療センター)

政策の内容

地域の中核的医療を担う基幹病院として、高度急性期医療、高度専門医療及び救急・小児・周産期・災害・感染症などの政策的医療を提供します。
地域医療支援病院として、病病連携・病診連携等を積極的に推進し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか。	3.54	3.54				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

2024年1月に、新病棟(A棟)を開院し、設備の充実や最新医療機器の導入など、医療機能の強化が図られ、より質の高い安全な医療を提供している。2025年4月には、地域医療連携推進法人浜松アカデミック・メディカル・アライアンスを浜松医科大学と設立し、浜松医科大学医学部附属病院との連携強化を図り、経営面、物的・人的資源の活用等、様々な分野での協力・協働体制を確立し、地域の医療提供体制の確保に貢献していく。
課題としては、患者数の増加及び診療単価の向上に伴い、収益が増加する一方で、職員の増加及び給与のベースアップに伴う人件費の増、物価高騰に伴う薬品費、光熱水費などの経費の増、新病棟開院に伴う減価償却費などの増により、経常収支比率が悪化しており、安定した経営基盤の確立が急務である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	2,074,256				
決算	2,069,361				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	1.0				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
浜松医療センター負担金	一般会計からの負担金の支出により、高度急性期医療、高度専門医療及び救急、小児、周産期、災害、感染症などの政策的医療を継続的に提供し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図る。	2,074,256
		2,069,361

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
病床利用率(%)	全病床の利用状況を測る指標。 病床がどの程度、効率的に稼働しているのかを示している。	活動の事業量を測る上で、限られた医療資源を余すことなく有効に活用できているかは重要であることから、当指標を設定した。	目標値	-	80	81.5	82	82	82
			実績値	80.6	82.2				
			達成率	-	103%				
一日平均外来患者数(人)	一日の平均外来延べ患者数を示す指標。 一定期間内の外来延べ患者数をその日数で除した割合。	活動の事業量を測る上で、施設の利用者数は重要であることから、当指標を設定した。	目標値	-	1,030	1,040	1,050	1,050	1,050
			実績値	1,030	1,065				
			達成率	-	103%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
経常収支比率 (%)	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを測る指標。比率が100%以上であれば経常利益が生じており、比率が高いほど、経常利益率が高いと判断できる。	安定した経営基盤の確立は、持続可能な医療提供体制を確保するために重要であることから、収益性を測る当指標を設定した。	目標値	-	95.4	95.5	96.3	96.3	96.3
			実績値	94.5	93.3				
			達成率	-	98%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
健康寿命 (歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022 年度)	2027年 度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 98% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。
国の医療DXの推進に合わせて、市立医療機関の電子カルテ情報の共有化、予防接種事務のデジタル化が着実に進んでいる。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
浜松医療センター負担金	一般会計からの負担金の支出により、高度急性期医療、高度専門医療及び救急、小児、周産期、災害、感染症などの政策的医療を継続的に提供し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図ることができた。	交付税算定基準の改定状況等を注視し、引続き適正な一般会計負担金を支出し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図っていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度は新病院棟に整備した高度先進機器の活用、救急患者の積極的な受入れ、開業医訪問等による紹介率の向上などの様々な取組みにより、入院患者数、外来患者数ともに増加し、入院収益、外来収益ともに前年度比で増収を実現した。その結果、活動(アウトプット)指標である「病床利用率」は目標80%に対し実績は82.2%、「一日平均外来患者数」についても目標値1,030に対し実績は1,060人とともに目標を達成できたことは十分評価できる。

一方で人件費、材料費の上昇が毎年3%を超える厳しい社会情勢のなかで、経費の増加分を収入増でカバーすることができず、短期成果(アウトカム)指標である「経常収支比率」は目標値95.4%に対し実績は93.3%と目標を達成できなかった。診療報酬が2年間据え置かれ、経費増を価格に転嫁できない病院の収入構造を考慮すると、経常収支の目標未達はやむを得ないと考ええる。

2026年度は6月に診療報酬のプラス改定(2年度平均で3.09%)が実施されるものの、人件費・材料費の上昇分をカバーするまでの改定率とは言い難く、2026年度も厳しい経営状況が続くことが想定される。引き続き入院患者数、外来患者数の増加に向けた取組みを継続するとともに、改修を終えた新病棟、健診センターを十分に活用するなどさらなる増収策を図り経常収支比率の改善に努めていく。